

# 山根千明氏の発表について

美学美術史グループ 後藤文子

本美学美術史グループは、主に彫刻史研究、絵画史研究、映像研究、色彩論研究、庭園研究に携わる研究者からなり、各々が研究対象とする感性的イメージについて多角的な意見交換を積み重ねています。発表者の山根千明君は、20世紀ドイツに誕生した実験的造形デザイン学校「バウハウス」において色光運動によるまったく新しい感性的イメージの可能性を追究した造形作家ルートヴィヒ・ヒルシュフェルト＝マック研究の中核的研究者であり、近代色彩論研究の専門家としても、本グループの議論に積極的な貢献をしてくださっています。本報告会では、「色彩療法」という領域への独自の着眼に基づき、実証研究の立場から、ヴァイマル・バウハウスにおける「色光」研究の最新の成果を発表していただきます。